

令和元年度  
事業報告及び附属明細書

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

公益財団法人さいたま市産業創造財団

# **I 法人の概況**

## **1. 設立年月日**

平成16年3月18日

## **2. 定款に定める目的**

この法人は、さいたま市の特性を生かして、市内中小企業者、創業者等の支援を行うとともに、中小企業等に勤務する者の勤労者福祉向上を図ることにより、地域産業の振興及び豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。

## **3. 定款に定める事業内容**

- (1) 中小企業者等の経営強化及び技術力向上に係る相談・診断・助言に関する事業
- (2) 創業及び新事業創出の促進に関する事業
- (3) 中小企業等に必要な情報の収集及び提供に関する事業
- (4) 人材の育成に関する事業
- (5) 就労支援に関する事業
- (6) 産学官の交流に関する事業
- (7) 地域産業の調査研究に関する事業
- (8) 勤労者福祉に係る調査研究に関する事業
- (9) 勤労者福祉事業の推進に関する事業
- (10) 中小企業勤労者の福利厚生に関する事業
- (11) 金融相談に関する事業
- (12) 事業資金の貸付及びあっせんに関する事業
- (13) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

## **4. 所管官庁に関する事項**

埼玉県 産業労働部 産業支援課

## **5. 当該事業年度末日における事務所の状況**

主たる事務所   さいたま市中央区下落合5丁目4番3号  
従たる事務所   なし

## 6. 職員に関する事項

令和2年3月31日現在

区 分	職員数	平均年齢
市派遣職員	2名	55歳
正職員	16名	47歳
契約職員	7名	55歳
非常勤職員	19名	57歳
事業推進員	2名	68歳
臨時職員	5名	49歳
合計または平均	52名	55歳

## 7. 株式を保有している場合の概要

該当なし

## 8. 許可、認可、承認等に関する事項

許可・認可日	内 容	備 考（根拠法令等）
平成16年4月1日	都道府県等中小企業支援センター	指定（中小企業支援法）
平成25年2月1日	経営革新等支援機関	認定（中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律）
平成25年9月2日	地域プラットフォーム	登録（中小企業・小規模事業者デジタル創造等支援事業）

## 9. 役員の氏名等

令和2年3月31日現在

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	主たる役職
理事長	山縣 秀司	常 勤	(公財)さいたま市産業創造財団 理事長
常務理事	本澤 明	常 勤	(公財)さいたま市産業創造財団 常務理事
理事	伊藤 麻美	非常勤	日本電鍍工業(株) 代表取締役
理事	内田 均	非常勤	連合埼玉さいたま市地域協議会 議長
理事	佐原 雅史	非常勤	(特非)さいたま起業家協議会 理事
理事	谷口 輝義	非常勤	協和精工(株) 代表取締役
理事	橋本 久義	非常勤	政策研究大学院大学 名誉教授
理事	丸山 明彦	非常勤	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 つくばセンター次長
理事	宮崎 恒史	非常勤	埼玉りそな銀行 常務執行役員
理事	矢口 敦彦	非常勤	さいたま市経済局 商工観光部長
理事	渡邊 伸治	非常勤	(株)渡辺製作所 代表取締役

監事	江田 元之	非常勤	(一社)埼玉県中小企業診断協会 専務理事
監事	小川 克則	非常勤	関東信越税理士会大宮支部 財務部長

## II 事業の状況

### 1. 事業の経過及びその成果

#### ○ 事業の概要

中小企業支援センター事業では、リニューアル2年度目のビジネスプランコンテスト『世界を変える起業家』 ビジコン in さいたま』の開催や、国庫補助金の活用による潜在的な創業者の発掘を目的としたアイデアソンの実施など、起業家発掘の取り組みを行った。また、昨年度試験的に実施した起業家、経営者の育成プログラムの内容を更に充実させた「さいたま起業家プログラム」を実施した。

また、融資事業では、消費税引き上げ対応や新型コロナウイルス対応など緊急特別資金の受付を行った。

さいたま市の施策に基づくプロジェクト事業では、リーディングエッジ企業をはじめイノベーションを目指す企業を対象に、産学連携、医療ものづくり、海外展開、IoTの推進を支援した。さいたま市からの委託事業に加え、引き続き「中小企業経営支援等対策費補助金（スマートものづくり応援隊事業）」（経済産業省）、「国内・海外販路開拓強化支援事業（JAPANブランド育成支援事業）」（経済産業省）、新たに「地域中核企業ローカルイノベーション支援事業」（経済産業省）の採択を受け実施した。

勤労者福祉サービスセンター事業では、経営健全化計画に沿ってサービスメニューの充実やPR活動の強化に取り組んだ。結果、1,225人の新規加入会員を獲得したが、退会1,557人で最終会員数は7,068人となり332人の減少となった。

#### (1) 支援・金融課

##### 中小企業支援センター事業

令和元年度は、創業者のスタートアップ支援を充実し、また、中小事業者の更なる成長に繋げる支援を展開した。

創業／新事業創出支援事業においては、平成30年度にリニューアルしたビジネスプランコンテストについて、最終審査会の会場をこれまでより大きな会場（さいたま市文化センター）で実施するなど、事業PRにも努めた。また、起業家・経営者向け支援として、「さいたま起業家プログラム」を拡充し、企業の更なる成長に資する取り組みを行った。

相談事業では、窓口相談については創業融資の増加したことを受け、そのフォローアップにも取り組んだ。また、金融機関連携成長支援事業については各金融機関への地道なPR活動の継続により安定した利用をはかり、中小企業の成長につなげる支援を展開した。

新商品開発／マーケティング支援事業では、多くの中小企業者の課題とされる販路開拓に対する支援として、展示会出展など販路開拓や販売促進に繋がる補助金事業を実施した。

融資事業では、消費税引き上げ対応や新型コロナウイルス対応など緊急特別資金の受付を行った。

##### さいたま市の施策に基づくプロジェクト事業

産学連携支援事業では、国の補助事業等の競争的資金獲得支援や、大学との連携による人

材高度化の支援を実施した。

研究開発・試作に係るものづくりの推進事業では、競争的資金の活用（中小企業経営支援等対策費補助金（スマートものづくり応援隊事業））や獲得支援、外部機関（金融機関・九都県市）との連携による展示商談会参加、高度人材育成研修プログラム等を実施した。

さいたま市研究開発型企業認証支援事業では、さいたま市リーディングエッジ認証企業に対し、新事業展開・新製品開発調査費の補助、ソリューション提案力強化支援、国際競争力向上支援、高度人材獲得支援等を実施した。また、さいたま市リーディングエッジ企業間の連携による新製品開発がなされ、製品化支援を実施した。

さいたま医療ものづくり都市構想の推進事業では、臨床現場（医学会・医療機関・一般社団法人埼玉県訪問看護ステーション協会等）とのネットワーク強化、大手医療機器メーカーとの個別マッチング支援を実施した。また、試作品開発・製品化支援のための経費補助、競争的資金獲得支援を実施した。

国際技術交流の推進事業では、ドイツバイエルン州医療クラスター・メドテックファルマ、同・メカトロニクスクラスターと連携し、展示会出展等の訪独、ドイツ有識者・企業等の招聘を行った。なお、医療分野では、令和元年度国内・海外販路開拓強化支援事業（J A P A Nブランド育成支援事業）を活用し、ドイツで開催の医療機器展示会（M E D I C A 2 0 1 8 / C O M P A M E D 2 0 1 8）に共同出展した。令和元年度から、新たにシンガポールを中心としたアジアへの展開及びさいたま市と姉妹都市であるアメリカピッツバーグ市の企業や大学とさいたま市企業の連携支援の準備を実施した。

## （２）勤労者福祉サービスセンター

勤労者福祉サービスセンターでは、経営の健全化を図るため、平成29年度を始期とする「勤労者福祉サービスセンター経営健全化計画」に沿った事業を実施した。

会員数においては、市内事業所へのポスティングを強化し、業界団体向けに事業紹介説明会を行うなどした結果、新規事業所における入会者は373名と前年より大幅に増加（前年149名）したが、中大口事業所の市外移転や退会が影響し、7,068名（前年比332名減少）という結果であった。

サービスメニューの充実においては、公演チケットの法人向けサービスや産地直送品あつ旋事業を新たに実施し、広域かつ幅広い世代のニーズに応えるとともに、会員証呈示で気軽に利用できる割引提携店を拡大するなど、会員の更なる満足度の向上を図った。

## 1. 創業／新事業創出支援事業

### (1) 創業者支援事業（定款第4条第1項第2号）

創業者及び創業を志す方を対象に、起業の心構えから事業計画の作り方等、創業時に必要な知識やノウハウを提供する各種セミナーを実施した。また、その内容について工夫することで、受講者も増加した。

○創業支援アドバイザー：2名配置

○創業者数：59名（うち女性創業数14名 若者創業数26名）

○創業セミナー事業

#### ① 「SAITAMA起業塾」（特定創業支援事業※として実施）

・実施日：5月25日、6月8日、6月15日、6月22日、6月28日

（土曜日、6月28日は金曜日 全5回）

・場 所：アルヴェアーレ 多目的ルーム

・講 師：渋谷 雄大 氏（ジャイロ総合コンサルティング株式会社 中小企業診断士）

井手 美由樹 氏（弊財団創業支援アドバイザー 中小企業診断士）

森 真一 氏（株式会社ヒューマン・パワーリサーチ 代表取締役）

・参加者：第1回 28名 第2回 23名 第3回 25名 第4回 24名  
第5回 14名（延114名）

※国が産業競争力強化法に定める事業

#### ② 第16期さいたま創業塾

（さいたま商工会議所との共催で、特定創業支援事業として実施）

・実施日：6月29日、7月6日、13日、20日、27日、8月3日

（土曜日 全6回）

※8月10日にフォローアップ講座を実施

・場 所：大宮ソニックシティ会議室

・講 師：吉野 太佳子 氏 上岡 美弥子 氏

・参加者：10名（延べ60名）

#### ③ 「ソーシャルビジネス入門講座」

・実施日：7月6日

・場 所：有限会社福祉ネットワークさくら

・講 師：横山 由紀子 氏（有限会社福祉ネットワークさくら 代表取締役）

・参加者：13名

#### ④ 創業セミナー ～「起業家が教える」シリーズ～

・実施日：令和元年6月～令和2年2月の毎月第4金曜日

※12月のみ第3金曜日（全9回）

（※当初、全10回の予定であったが、新型コロナウイルス感染防止対策のため第10回は中止となった。）

- ・場 所：さいたま市立中央図書館及びまるまるひがしにほん東日本連携センター
- ・講 師：星野 邦敏 氏 他 9名
- ・参加者：第1回20名 第2回13名 第3回 8名 第4回24名  
第5回11名 第6回14名 第7回14名 第8回29名  
第9回12名 (延145名)

⑤ S A I T A M A未来予想図アイデアソン

- ・実施日：9月7日
- ・場 所：貸会議室6F（ロクエフ）
- ・ファシリテーター：シナプテック株式会社 代表取締役 戸田 達昭 氏
- ・参加者：33名

**(2) ビジコン運営事業（定款第4条第1項第2号）**

さいたま市から世界を変える起業家を発掘創出する「『世界を変える起業家』 ビジコン in さいたま」を開催した。

財団として優秀なビジネスプランを表彰するとともに、市内の金融機関をはじめとする20の企業や支援機関が協賛団体として独自の視点で起業家を表彰・支援した。

- ・募 集：7月10日～9月18日 応募件数 47件
- ・1次審査：10月9日
- ・2次審査：11月6日
- ・最終審査：12月4日
- ・表 彰：グランプリ 1名  
地域を変える起業家賞 1名 女性起業家賞 1名  
若手起業家賞 1名 審査員特別賞 1名  
オーディエンス賞 1名
- ・市長対談：令和2年1月29日（さいたま市役所本庁舎4階政策会議室）
- ・受賞者・ファイナリスト向け個別メンタリング：  
令和2年3月4日 参加者 5名  
講師：戸田 達昭 氏（シナプテック株式会社 代表取締役）

\*協賛団体：20団体

（青木信用金庫、株式会社アクティヴ・ビジネス・サポート、イオンリテール株式会社  
株式会社ノーズフー、川口信用金庫、特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポ  
ートセンター、株式会社コミュニティコム、NPO 法人さいたま起業家協議会、埼玉縣信用  
金庫、一般社団法人埼玉県中小企業診断協会、さいたま商工会議所、国立大学法人埼玉  
大学研究機構先端産業国際ラボラトリー、一般社団法人埼玉ニュービジネス協議会、株  
式会社埼玉りそな銀行、株式会社そごう・西武、日刊工業新聞社さいたま総局、株式会  
社パルコ、飯能信用金庫、株式会社武蔵野銀行、株式会社Mio）

### (3) ベンチャー企業発掘・支援事業（定款第4条第1項第2号）

今年度より「さいたま起業家プログラム」を実施し、上場や成功を目指している起業家が、本プログラムを通して、ベンチャー経営者や、成長を指南する講師とともに会社の成長を加速させるための戦略の策定・実行をサポートした。

・参加企業数：8社

株式会社ドラEVER サイエンス株式会社 株式会社デジタルベリー

株式会社シンミドウ 株式会社ユウキ カワバタ産業株式会社

株式会社ハーツテック埼玉 有限会社スズパワー

#### ① セミナー講義（全10回）

・実施日：7月16日～令和2年3月31日

・内容：事業戦略策定・実行支援、リスクマネジメント、講義・フィードバックの実施

・講師：福永 雅文 氏

（ランチェスター協会常務理事、戦国マーケティング株式会社 代表取締役）

林 和志郎 氏

（ニュートン・コンサルティング株式会社 アソシエイトシニアコンサルタント）

遠藤 敬一 氏

（有限責任監査法人トーマツ 仙台事業所マネージャー）

・会場：新都心ビジネス交流プラザ 浦和コミュニティセンター

#### ② ベンチャー経営者訪問（2回）

先輩ベンチャー企業経営者を訪問し、対話の場を通じて、自社の成長戦略の課題を解決していく。

・訪問先

○株式会社温泉道場 代表取締役 山崎 寿樹 氏

訪問日：10月29日

○株式会社システムインテグレータ 代表取締役 梅田 弘之 氏

（東京証券取引所第一部上場企業）

訪問日：令和2年1月22日

### (4) ビジネス／新事業創出支援事業（定款第4条第1項第2号）

さいたま市の新たな産業創出につながる可能性を持つ異業種コンソーシアムに対し、販路開拓、研修などを支援した。

#### ① さいたまヨーロッパ野菜研究会（支援先主体：農事組合法人FENNEL）

ア 展示会出展

「農と食の展示・商談会」

・出展日：令和2年2月5日

・会場：さいたまスーパーアリーナ

- ・商談件数：65件
- 「デリカテッセン・トレードショー」
- ・出展日：令和2年2月13日～15日
- ・会場：幕張メッセ
- ・商談件数：118件

#### イラストッカー作成

- ・さいたまヨーロッパ野菜 PR用ステッカー 200部

#### ② クラフトビール開発勉強会（支援主体：株式会社氷川ブリュワリー）

##### ア 勉強会の開催

「オール埼玉産クラフトビール」の量産に向けた勉強会を開催した。

- ・講師：高橋順一氏
- ・実施日：6月10日、8月20日、令和2年1月28日、2月12日

## 2. 相談事業

### (1) 窓口相談事業（定款第4条第1項第1・2号）

市内の中小企業者や創業者等に対し、財団窓口等で中小企業診断士の窓口相談員が経営・創業相談に対応すると同時に、職員やアドバイザーが積極的に企業訪問を実施した。

- ① 窓口相談件数：311件
  - ② 訪問相談件数：540件
- 
- 計：851件

### (2) 専門家派遣事業（定款第4条第1項第1・2号）

中小企業者等が抱える様々な課題に対し、財団の登録専門家を企業に派遣し、経営、技術、販促等に対するアドバイスを実施した。

- ・専門家派遣回数：80回（実施企業数：26社）

### (3) 金融機関連携成長支援事業（定款第4条第1項第1号）

地域の金融機関と連携し、今後の事業成長が見込める企業に対して、事業計画の策定支援や販路開拓に関するアドバイス等を通じて、財団の登録専門家の派遣による支援を行った。

- ① 覚書締結金融機関数：12金融機関（令和2年3月31日現在）
- ② 成長支援事業コーディネータ（中小企業診断士）：3名配置
- ③ 専門家派遣回数：162回（実施企業数：48社）
- ④ 相談会の実施

ア 川口信用金庫 経営課題解決に向けた相談会

- ・実施日：6月14日

- ・会 場：川口信用金庫 北浦和支店
  - ・参加者：10社
- イ 埼玉縣信用金庫 さいしんコラボ経営課題相談会

- ・実施日：10月3日
- ・会 場：埼玉縣信用金庫 浦和支店
- ・参加者：12社

⑤ 金融機関職員向け勉強会の開催

ア 川口信用金庫（市内11支店の支店長・営業推進部の担当職員対象の集合勉強会）

- ・実施日：4月18日
- ・場 所：さいたま市産業創造財団

イ 埼玉縣信用金庫

浦和ブロック支店長会議

- ・実施日：6月20日
- ・会場：埼玉縣信用金庫浦和支店  
大宮ブロック支店長会議

- ・実施日：6月21日
- ・会場：埼玉縣信用金庫大宮支店

ウ 青木信用金庫

- ・実施日：令和2年2月21日～3月12日
- ・場 所：さいたま市内の各支店（6支店）

※課題解決先数：72社

（うち専門家派遣事業21社 成長支援事業40社 ミラサポ事業11社）

### 3. 新商品開発／マーケティング支援事業

#### （1）販路開拓支援事業（定款第4条第1項第1号）

##### ① 販路開拓支援事業補助金

新商品や新事業の販路開拓を支援するため、展示会出展費用や映像制作費の一部を補助した。（採択件数：7件 補助金額：1,913,000円）

- ・国内外展示会出展補助 5件 補助金額：1,313,000円
- ・映像制作 2件 補助金額：600,000円

##### ② 新製品・新サービス・新技術開発補助金事業

新製品・新サービス並びに新技術開発に係る調査研究、試作開発を支援するため経費の一部を補助した。

（採択件数：3件 補助金額：1,833,000円）

### 4. 広報事業

#### （1）広報事業（定款第4条第1項第3号）

① NEXT STAGE (No. 35) の製作・発行

発行部数 3,000部

配布先 支援機関、金融機関、さいたま市内図書館ほか

② 財団事業のPRや情報発信

財団パンフレットやWebサイトをリニューアルしたほか、SNSへの掲載や企業や支援機関へのメールマガジンの配信などにより、イベントの紹介や事業内容のPRなど、情報発信を積極的に実施した。

## 5. 産学連携推進事業

### (1) 産学連携推進事業（定款第4条第1項第1・2・4・6号）

さいたま市と埼玉県が共同で設置し、公益財団法人埼玉県産業振興公社と共同運営する「産学連携支援センター埼玉」にコーディネーターを2名、職員を4名、計6名を配置して下記の業務を推進した。

① 産学連携相談

支援センターの窓口を中心に、産学連携に関する各種相談に応じた。

・相談件数：315件

② 共同研究体の形成・支援

研究開発型企業のニーズ発掘を中心に、産学官による共同研究体の形成、競争的資金の獲得支援等を行った。

・戦略的基盤技術高度化支援事業 事業管理機関 継続2件

③ さいたま市研究開発人材高度化タスクフォース事業の実施

大学の研究室と連携し、市内中小企業と大学、双方の研究開発人材の高度化を目指す共同研究を実施した。

・支援件数：3件

「病院用カートにおける非接触給電機工の開発を通じたイノベーションリーダーの育成」

「キクラゲ高度生産システムの予測制御技術の研究を通じた人材育成プロジェクト」

「電磁波エミッション抑制手法開発を通じたイノベーションリーダー育成プロジェクト」

## 6. 次世代高度ものづくり企業の発掘と育成

### (1) 次世代高度ものづくり企業の発掘と育成（定款第4条第1項第1・3号）

「さいたまものづくりプラットフォーム」の運営を通じて、市内中小企業の大企業等への提案力向上を目指すとともに、競争的資金の獲得支援、年間を通じたビジネスマッチングを実施した。

① ウェブサイト「ものづくりプラットフォーム」の運営管理

さいたま市域の研究開発型ものづくり企業のビジネスマッチング機会向上へ向け、ものづくりプラットフォームに6社を追加掲載した。

## ② 競争的資金の活用と獲得支援

### ○ 活用

ア 平成31年度中小企業経営支援等対策費補助金（スマートものづくり応援隊事業）

・採択：1件 3,221千円

イ 令和元年度地域中核企業ローカルイノベーション支援事業

・採択：1件 13,850千円

ウ 令和元年度国内・海外販路開拓強化支援事業費補助金（JAPANブランド育成支援事業）

・採択：1件 18,000千円

エ 令和元年度予算戦略的基盤技術高度化支援事業

・採択：2件 51,248千円

### ○ 獲得支援

オ 平成30年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」

・採択：1件 18,726千円

カ 2019年度「埼玉県中小企業ものづくりAIトライアル補助金」

・採択：1件 5,000千円

キ 平成31年度埼玉県ものづくり技術・製品開発支援事業費補助金

・採択：1件 6,100千円

ク 第104回 [令和元(2019)年度2次] 新技術開発助成

・採択：1件 24,000千円

## ③ 高度人材育成研修プログラム

次世代を担うものづくりの若手人材に対し、実務に密着した実践的知識の習得を目指し、塾形式の長期・集中的な人材育成の機会を提供することで人材高度化による真の「ものづくりエリート」養成を目指すべく、ものづくりエリート養成塾を開催した。

・開催日：8月26日～令和2年1月22日の12日間

・受講者：13社／20名

## ④ 展示会共同出展

ア 令和元年度品川区・目黒区・板橋区・江戸川区・荒川区・足立区・さいたま市 合同ものづくり商談会

・開催日：9月3日

・場 所：品川産業支援交流施設3階 大崎ブライトコアホール

・参 加：14社

イ 九都縣市合同商談会2020

- ・ 出展日：令和2年2月5日
- ・ 場 所：パシフィコ横浜
- ・ 参 加：8社

ウめぶきFGものづくり企業フォーラム2020技術商談会

- ・ 出展日：令和2年2月20日
- ・ 場 所：つくば国際会議場
- ・ 参 加：5社

## (2) スマートものづくり応援隊事業（定款第4条第1項第1・2号）

経済産業省からの補助事業（4年目）を活用して、ものづくり企業が取り組むべき生産性向上をテーマとした実践的なカリキュラムを採用し、現場実習を組み入れた講座を企画・開催した。

- ・ 実施日：8月30日～10月28日の12日間
- ・ 受講者：14名

前年度に引き続き、IVI（※）の全面協力を得てセミナーを開催するとともに専門家（スマートものづくり応援隊事業）による、個社別の生産性向上支援を実施した。

※IVI=Industrial Value chain Initiative

- ・ 実施日：4月3日～令和2年2月28日の延べ104日間
- ・ 13社に対し、8名の専門家が実施

IVI中小企業・地域アワードにおいて支援した藤工業株式会社が最優秀賞、北光金属株式会社が奨励賞を受賞した。

## 7. リーディングエッジ認証企業支援事業

### (1) イノベーション創出支援事業（定款第4条第1項第1・2号）

認証企業が自ら保有する高度な技術力をベースに、技術革新や新事業分野への展開を実現するため、下記の支援を実施した。

#### ① 新事業展開・新製品開発における調査費補助事業

新たな市場を目指す認証企業の活動を促進するため、新事業可能性調査費、新技術の調査費、マーケット調査費、知的財産関連調査費などの補助を実施した。

- ・ 6社実施

#### ② ソリューション提案力強化プログラム

優れた技術力を持つリーディングエッジ企業が、その高い技術力を企業収益に結びつけるために、営業の専門家を派遣し、各企業ニーズ、営業課題に合わせて、個別にカリキュラムを作成し支援した。

- ・ 4 社実施

③ さいたま市リーディングエッジ企業経営者会

認証企業同士の情報交換によりイノベーションが生まれやすい環境をつくるとともに、企業と市、関係機関との連携の促進を図ることを目的とした認証企業の経営者の会合を開催した。今年度から、既存認証企業間の連携事例紹介の機会を設けた。

- ・ 実施日：7月3日
- ・ 場 所：ホテルブリランテ武蔵野
- ・ 参加者：28社／39名

**(2) 国際競争力向上支援事業（定款第4条第1項第1・2・3号）**

認証企業が世界の的確な市場に対する的確な戦略をもって国際展開を推進するため、下記の支援を実施した。

① 国際展開戦略立案支援

認証企業個社の課題の抽出と最適な戦略立案を目的とした国際展開支援を実施した。

- ・ 3 社実施

② 現地調査、国際展示会出展支援

認証企業の国際競争力向上と海外展開のため、海外現地調査、国際展示会出展支援のための費用補助を実施した。

- ・ 4 社実施

**(3) 高度人材獲得・育成支援事業（定款第4条第1項第1・4号）**

さいたま市リーディングエッジ認証企業が新事業展開・国際展開を推進するにあたって、活動の中心を担う高度人材の育成と採用の両面をサポートするため、下記の支援を実施した。

① 高度人材採用力等強化支援

認証企業の人材獲得・育成・定着等に関するニーズ・課題を把握し、専門家派遣による課題解決に向けた支援を実施した。

- ・ 4 社実施

② 高度人材採用先開拓支援

認証企業が獲得を希望する人材ニーズを調査し、ニーズに適した大学や高等専門学校等から人材を獲得できるよう、認証企業とのマッチングの機会を創出するとともに、獲得に向けた支援を実施した。

- ・ 1 回開催（5社参加）

③ 人材技術力等向上支援

高度な技術力を持つ人材が不足する認証企業に対し、人材の技術力や資質の向上などを通じた人材育成を支援するための研修を実施した。

- ・ 3社実施

## **8. 医療ものづくり都市構想推進支援事業**

### **(1) 医療ものづくり都市構想推進支援事業（定款第4条第1項第2・3号）**

さいたま市が掲げる「さいたま医療ものづくり都市構想」に基づき、研究開発型ものづくり企業の医療機器関連分野へ新規参入・事業拡大を支援すべく、以下の事業を実施した。

#### ① 医療ものづくり推進アドバイザーの配置

さいたま医療ものづくり都市構想の重点分野を踏まえた人材を2名配置し、医学会・医療現場からのニーズ収集の際の調整や医学会の動向等把握をしつつ、事業化へ向けたコンソーシアムの形成や医学会との人脈形成などに関する支援をした。

#### ② 試作品開発・商品化支援

医療機器関連分野の新規参入・事業拡大を目指す研究開発型の中小企業等が、臨床現場や医学会などのニーズを踏まえつつ、自らが保有する技術力などの各種経営資源を活かし、新たな試作品の開発や製品化へ向けた販路開拓などに要する経費の一部を、財団が補助する事業を実施した。

[試作品開発等製品開発の入り口支援]

- ・ 1社 1,000千円

[製品試験や薬事承認プロセス等市場化の出口支援]

- ・ 1社 1,983千円

財団の補助事業は、小口であり製品化へ向けたさらなる成長支援を加速する際には、資金的に十分とはいえないため、国・埼玉県の競争的資金を獲得し、支援の加速・強化を図った。

#### ③ 産学官医連携拠点の運営

試作品の開発が将来見込める産学官医プロジェクトが今年度継続で1社入居（3年目）し、その研究開発に活用した。

#### ④ 専門人材による臨床現場との連携促進支援

平成26年度から継続して、医工連携に従事した経験、医療関連メーカーに従事した経験を持つ2名のコーディネーターを配置し、臨床現場や医療機器製販企業とのマッチング・事業化へ向けての支援を実施した。

ア 医学会などへの参加とブース出展

- ・ 3回参加
- ・ 参加者：計13社

イ Medtec Japan 2020へのブース出展

参加者12社を確定したが、新型コロナウイルスの影響で、開催が次年度以降延期となった。

- ウ 一般社団法人埼玉県訪問看護ステーション協会と、困りごと検討会
- ・10回開催

<参考>平成26年度からのマッチング累計件数：592件（国内、海外）

- ・NDA締結：13件
- ・試作開発中：52件
- ・試作品完成：26件
- ・事業化：49件
- ・量産開始：32件

## （2）令和元年度「地域中核企業ローカルイノベーション支援事業」

（定款第4条第1項第1・2・3号）

経済産業省関東経済産業局から、令和元年度「地域中核企業ローカルイノベーション支援事業」の採択を受け、「世界に先駆けた最先端内視鏡の早期事業化促進事業」を実施した。

- ・展示会及び医学会を活用した最先端内視鏡の市場訴求：1回
- ・医学会を活用した医師への最先端内視鏡の有用性PR：1回
- ・ロボット支援下手術のマーケティング戦略の検討：通年で実施
- ・生物学的安全性評価の実施：3件実施／一般財団法人食品薬品安全センター秦野研究所にて

## 9. 国際展開支援事業

### （1）国際展開支援事業（定款第4条第1項第1・2・3号）

平成23年度から継続してドイツバイエルン州の医療クラスター同メカトロニクスクラスターと連携し、さいたま中小企業の国際展開支援、技術高度化支援の取組を実施しているが、これまで関係を構築したドイツ産業クラスターとの交流や、ドイツで開催される世界規模の展示会出展を通じて、自社技術のさらなる高度化や、ドイツを起点としたグローバル市場開拓を志向する研究開発型ものづくり企業の国際展開を支援した。

#### ① 訪独

##### ア ミッション派遣（医療関連）

- ・5月20日～24日
- ・Forum MedTech Pharma 主催「MedtecLIVE・Medtech Summit」出席(1 on 1 商談会参加、併設展示出展、技術発表会聴講)と、企業・研究機関・医療機関訪問を実施
- ・6社・1大学／14名参加

#### ② 招聘

##### ア ドイツ有識者・企業招聘（ヘルスケア関連）

- ・ 10月10日～15日
- ・ 招聘：1社／1名
- ・ 訪問：2社
- イ ドイツ有識者・企業招聘（メカトロニクス関連）
  - ・ 11月12日～15日
  - ・ 招聘：1社・1機関／2名
  - ・ 訪問：4社
- ウ ドイツ有識者招聘（医療関連）
  - ・ 令和2年2月25日～28日
  - ・ 招聘：2社・1機関／3名
  - ・ 訪問：13社

③ グローバル人材育成研修プログラム

ドイツメカトロクラスター協力のもと、国際的なビジネススキルやプレゼンテーションスキル、生産技術や品質管理等を習得することで国際的な技術連携や販路開拓を促進し、認証企業の国際競争力を強化することを目的とした実践的ビジネス研修プログラムを開催した。

- ・ 6月5日～7日（ドイツ現地研修）
- ・ 日本企業4社／4名、ドイツ企業10社／22名

**(2) JAPANブランド育成支援事業（定款第4条第1項第1・2号）**

経済産業省関東経済産業局から、令和元年度国内・海外販路開拓強化支援事業（JAPANブランド育成支援事業）の採択を受け、「さいたま発医療機器の海外販路拡大・ブランド確立プロジェクト」を運営した。（3年目）

- ・ 試作品開発・改良の支援：6件
- ・ 海外展示会出展支援：COMPAMED2020に9社  
MEDICA2020に3社
- ・ 商談数：510件

**(3) 海外新市場開拓支援準備事業（定款第4条第1項第1・2・3号）**

新たにシンガポールを中心としたアジアへの展開及びさいたま市と姉妹都市であるアメリカピッツバーグ市の企業や大学とさいたま市企業の連携支援の準備を実施した。

① シンガポール

ア 現地事前調査

- ・ 7月2日～4日
- ・ 参加：1社／1名
- ・ 訪問：2機関・5社

イ 学会出展（シンガポール医療・看護・介護業界が集うシンポジウム）

- ・ 8月24日
- ・ 参加：1社／2名

ウ 販路拡大を目的としたミッション派遣

- ・ 9月9日～13日
- ・ 参加：4社／6名
- ・ 商談数：28件（15社）

② ピッツバーグ・北米

ア 現地事前調査

- ・ 6月10日～14日
- ・ 参加：3社／3名
- ・ 訪問：5機関・2社

イ 経済交流を目的としたミッション派遣

- ・ 10月21日～24日
- ・ 参加：4社・1大学／7名
- ・ 訪問：9機関・4社

ウ 招聘（BIZ SAITAMA 2019開催時）

- ・ 11月12日～15日
- ・ 招聘者：1企業・1機関／2名
- ・ 訪問：8社

エ 展示会視察（MD&M WEST 2020）

- ・ 令和2年2月11日～13日

## 10. 融資事業

### （1）融資事業（定款第4条第1項第11・12号）

① さいたま市中小企業融資制度及び公的融資制度の周知

金融機関向け事業説明会（成長支援事業と同時開催）において制度融資の案内を行った。

- 市内金融機関 3金融機関

② 中小企業者及び創業者の融資の相談

- 中小企業者相談件数：4,039件（来客者：1,948件、電話等：2,091件）
- 創業者相談件数：239件

③ ア 中小企業信用保険法第2条第5項に規定されている特定中小企業の認定等に係る相談、受付及び調査

- 認定件数：128件（1号認定：0件、4号認定：107件、5号認定：21件）

イ 中小企業信用保険法第2条第6項に規定されている特定中小企業の認定等に係る相談、受付及び調査

- 認定件数：10件（危機関連保証認定）

④ さいたま市中小企業融資の申込み受付

○申込件数及び金額合計：	1 5 5 4 件	1 7, 8 5 2, 2 8 2 千円
(内訳)		
・小口資金	1 5 件	1 0 5, 5 7 2 千円
・中口資金	6 5 件	8 3 5, 7 0 0 千円
・創業支援資金	5 9 件	3 4 5, 8 9 0 千円
・セーフティネット資金	2 件	6 0, 0 0 0 千円
・緊急特別資金（消費税率引上げ対応）	6 6 2 件	7, 5 5 6, 0 0 0 千円
・緊急特別資金（年末年始対応）	3 8 3 件	4, 1 6 7, 9 5 0 千円
・緊急特別資金（台風第19号対応）	4 0 件	4 9 6, 8 0 0 千円
・緊急特別資金（新型コロナウイルス対応）	3 0 6 件	3, 9 4 5, 1 6 0 千円
・経営力強化資金	2 2 件	3 3 9, 2 1 0 千円
・経営力向上支援資金	0 件	0 千円

⑤ その他

- 日本政策金融公庫と連携し、さいたま市全10区役所との共催にて、「出張創業・経営・金融相談会」を開催

開催期間： 10月15日～10月31日

相談件数： 26件

**11. 競争的資金事業**

**(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業（定款第4条第1項第2・6号）**

経済産業省関東経済産業局の委託を受け、戦略的基盤技術高度化支援事業の事業管理機関としてプロジェクトを運営した。

- ・平成30年度からの継続案件：2件

**13. 勤労者福祉事業**

**(1) 勤労者福祉に関する調査研究事業（定款第4条第1項第8号）**

中小企業勤労者の要望に即した勤労者福祉の事業を実施するため、余暇施設、余暇活動及び福利厚生等について調査研究を実施した。

① 勤労者福祉サービス検討委員会の開催

- ・実施日：7月18日、11月7日、令和2年3月25日  
・場 所：さいたま市産業文化センター

② (一社) 全国中小企業勤労者福祉サービスセンター会議

ア 総会

- ・実施日：6月11日

- ・場 所：メルパルク TOKYO（東京都港区）
- イ 関東ブロック協議会 関東第Ⅳ地区運営委員会
  - ・実施日：7月25日
  - ・場 所：入間市商工会（埼玉県入間市）
- ウ 業務運営研修会
  - ・実施日：7月12日
  - ・場 所：港区港勤労福祉会館（東京都港区）
- エ 実務担当者研修
  - ・実施日：9月13日
  - ・場 所：港区港勤労福祉会館（東京都港区）
- オ 東ブロック会議
  - ・実施日：10月10日～11日
  - ・場 所：ホテル談露館（山梨県甲府市）
- カ 関東ブロック協議会 実務担当者研修会
  - ・実施日：令和2年1月24日
  - ・場 所：テレコムセンタービル（東京都江東区）

③ 埼玉県中小企業勤労者福祉サービスセンター協議会

- ア 総会
  - ・実施日：5月14日
  - ・場 所：入間市役所
- イ 事務局長会議
  - ・実施日：7月25日、令和2年3月10日
  - ・場 所：入間市商工会、上尾市プラザ22
- ウ 担当国会議
  - ・実施日：6月18日、11月28日、令和2年2月20日
  - ・場 所：ウエスタ川越、狭山市産業労働センター、ふじみ野市役所

④ 第42回指定都市中小企業福祉共済団体連絡会議

- ・実施日：10月31日～11日1日
- ・場 所：広島サンプラザ（広島県広島市）

**(2) 中小企業勤労者の福利厚生事業（定款第4条第1項第10号関係）**

中小企業勤労者が豊かで充実した生活を送れるよう各種事業を実施した。

① 慶弔等給付事業

入学・結婚等の祝金、傷病による休業や事故等による見舞金の給付を実施。

- ・慶弔等給付： 1,067件 8,984,000円

② 健康維持増進事業

人間ドック、脳ドック受診料の一部補助を実施。

・人間ドック、脳ドック受診料補助：	411件	1,644,000円
・スポーツ施設補助：	103件	47,000円

③ 余暇活動援助事業： 34,384,522円

ア 宿泊・日帰りバスツアー補助事業

・宿泊・日帰りバスツアー補助：	286件
-----------------	------

イ レジャー施設の割引及び補助事業

・TDR利用券：	3,485件
・東武動物公園利用引換券：	2,438件
・西武園ゆうえんち：	535件
・その他レジャー施設利用補助券：	6,015件

ウ 各種チケットのあつ旋

・ジェフグルメカード：	2,203件
・埼玉県道路公社有料道路共通割引券：	41件
・食事券：	1,530件
・コンサート・観劇等：	950件
・スポーツ観戦チケット（Jリーグ、野球他）：	193件
・その他のチケット等：	2,284件

エ レクリエーション事業

農作物収穫体験、産地直送品のあつ旋、自己啓発事業等を開催。

・収穫体験（ブルーベリー、潮干狩、いちご、みかん）：	564名
・産地直送品あつ旋：	29件
・ホテル探検&親子のテーブルマナー：	4名
・親子レッスン アニマル&あしあとパン&ジェラート：	9名

オ 飲食・ショッピング施設等の割引

会員証の呈示により割引サービスが受けられる新規提携先：22件

④ 生活資金融資あつ旋事業

結婚、出産、葬祭等、生活に必要な資金に対し、融資をあつ旋。

利用状況

(単位：千円)

預託金額	融資枠	利用件数	利用残高	残融資枠
5,000	15,000	2件	202	14,798

### (3) 勤労者福祉に関する情報提供事業（定款第4号第1項第3号）

中小企業勤労者の要望に応じた勤労者福祉事業の紹介及び当センターが実施する各種事業等についての最新情報を提供した。

- ・会報誌「ワークジョイさいたま」の年間6回発行： 合計 54,600部発行
- ・ワークジョイさいたまガイドブックの発行： 11,000部発行
- ・全福ネットガイドブックの配布： 1,000部配布
- ・ホームページの運営

### (4) 勤労者福祉事業の推進に関する事業（定款第4条第1項第9号）

勤労者福祉の向上や安定した事業運営を図るため、会員数拡大事業を実施した。

#### ① 会員数・事業所数の推移

年 度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
会 員 数	6,700人	7,344人	7,400人	7,068人
事業所数	969所	916所	887所	865所

#### ② 事業推進員による加入促進

事業推進員による訪問事業所数：2,395事業所（2名で実施）

#### ③ 会員数拡大キャンペーン等の実施

- ・会費無料入会キャンペーン（6月10日～7月16日）  
入会者数：15事業所 35名
- ・会費無料入会キャンペーン（令和2年2月1日～3月19日）  
入会者数：10事業所 55名

#### ④ 金融機関と連携した会員数拡大事業

金融機関と業務契約を締結し、事業所紹介により会員数の拡大を実施。

- ・金融機関数：7行 85支店
- ・4行より8事業所の紹介があり、5事業所30人が入会した。

#### ⑤ 各種メディア等を利用した広報啓発事業を実施

ア 新聞や広報誌等を利用

- ・市報さいたま
- ・日刊工業新聞広告
- ・ばらまつり、大宮薪能（協賛広告）

イ インターネット等を利用

- ・さいたま市HP
- ・イーシティさいたまHP（地域情報サイト）

ウ その他

- ・ 公用車側面広告（3台）
- ・ ポスティング（15,000事業所×2回）
- ・ 販促品作成（カレンダー、名入クリアファイル、ポケットティッシュ）
- ・ タブレットの使用（サービス案内動画）
- ・ ガイドブックダイジェスト版制作（2,000部）

⑥ ポイントサービス事業の実施

会員のサービス利用度向上を図り、ポイントサービスを実施。

- ・ 利用ポイント数：177,000ポイント（1ポイント1円で換算）

**14. 職員厚生事業**

**（1）職員厚生事業（定款第4条第1項第13号）**

職員の福利厚生の一環として設けている「職員厚生給与金規程」に基づき、職員厚生給付金を支給した。

・ 入学・卒業祝金	： 4件	80,000円
・ 宿泊施設利用給与金	： 6件	60,000円
・ 永年勤続祝金	： 1件	20,000円
・ 退職慰労金	： 1件	30,000円

## 2. 資金調達等についての状況（重要なものに限る）

該当なし

## 3. 直前3事業年度の財産及び損益の状況

（単位：千円）

事業年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
経常収益計	561,665	586,407	559,471	566,323
当期一般正味財産増減額	▲17,921	▲9,190	3,091	▲7,663
資産合計	487,046	478,675	537,573	484,335
負債合計	219,022	215,927	272,650	227,990
一般正味財産期末残高	68,024	58,834	61,925	54,262
指定正味財産期末残高	200,000	203,913	202,998	202,083

## 4. 重要な契約に関する事項

該当なし

## 5. 会員等に関する事項（勤労者福祉サービスセンター事業会員数）

種類	前期末	当期末	前期末比増減
会員数	7,400人	7,068人	▲332人
事業所数	887所	865所	▲22所

## 6. 理事会、評議員会等に関する事項

### (1) 理事会

#### ① 第1回理事会（定例理事会）

開催年月日	議事内容	結果
令和元年 6月3日	報告事項 平成30年度資金の借入れ状況について	
	第1号議案 平成30年度事業報告及び附属明細書の承認について	可決
	第2号議案 平成30年度計算書類等（資金収支計算書、計算書類及び附属明細書並びに財産目録）の承認について	可決
	第3号議案 令和元年度第1回資金収支補正予算の承認について	可決
	第4号議案 令和元年度第1回評議員会（定時評議員会）招集の決定について	可決

② 第2回理事会（定例理事会）

開催年月日	議事内容	結果
令和元年 9月12日	報告事項 令和元年度第1回資金収支補正予算の合計額の訂正について	
	報告事項 職務執行状況の報告及び令和元年度（4月から7月まで）事業報告について	
	第5号議案 情報公開規程及び個人情報保護規程の一部改正（専決分）の承認について	可決
	第6号議案 令和元年度第2回資金収支補正予算（専決分）の承認について	可決

③ 第3回理事会（決議の省略の方法による）

決議年月日	議事内容	結果
令和元年 12月2日	第7号議案 （1）評議員会の決議の省略についての決定 （2）評議員会の決議事項 評議員1名選任につき、その候補者の決定の件	可決

④ 第4回理事会（決議の省略の方法による）

決議年月日	議事内容	結果
令和2年 3月19日	報告事項 職務執行状況の報告について	
	報告事項 令和元年度資金の借入れ状況について	
	第8号議案 令和元年度第3回資金収支補正予算（専決分）の承認について	可決
	第9号議案 事務局組織規程の一部改正について	可決
	第10号議案 文書取扱規程の一部改正について	可決
	第11号議案 職員給与規程の一部改正について	可決
	第12号議案 役員報酬等に関する規程の一部改正について	可決
	第13号議案 令和2年度事業計画及び収支予算等の承認について	可決
第14号議案 事務局長の選任について	可決	

(2) 評議員会

① 第1回評議員会（定時評議員会）

開催年月日	議事内容	結果
令和元年 6月20日	報告事項 平成30年度第3回～第4回資金収支補正予算について	
	報告事項 平成30年度事業報告及び附属明細書について	
	報告事項 平成30年度資金収支計算書について	
	報告事項 平成31年度資金収支当初予算について	
	報告事項 令和元年度第1回資金収支補正予算について	
	第1号議案 平成30年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録の承認について	可決
	第2号議案 評議員2名の選任について	可決
第3号議案 理事1名の選任について	可決	

	第4号議案 監事1名の選任について	可決
--	-------------------	----

② 第2回評議員会（決議の省略の方法による）

決議年月日	議事内容	結果
令和元年 12月13日	第5号議案 評議員1名の選任について	可決

(3) 監査会

開催年月日	議事内容	結果
令和元年 5月27日	平成30年度事業、決算及び会計帳簿の監査	承認

**7. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実**

該当なし

**8. 対処すべき課題**

該当なし

### **Ⅲ. 事業報告の附属明細書**

令和元年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書については、「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にありませんので作成していません。